

PPH-1503 通信の使用上のご注意



注意

PPH-1503の取扱説明書にLAN通信のWebブラウザからのアクセスの説明が残っている場合がありますが、現在のバージョンのファームウェアではWebブラウザからのアクセスは停止し、Socket通信(ポート:1026)のみとなっています。

USBおよびLANで通信を行う場合は、はじめにパネルからキーロック状態にするか、リモートコマンド(:syst:rem)を送る必要があります。キーロック状態でないと他の通信コマンドを受け付けません。制御が終了したらキーロックを解除するか解除コマンド(:syst:loc)を送ります。GP-IBの場合は明示的にリモートにする必要はありません。

PPH-1503のLAN端子をネットワークにつないだまま電源をオンするとキーロック状態になります。USB端子をPCにつないだ場合も同様です。

またPPH-1503が動作している状態でLAN端子/USB端子を接続するとキーロック状態になります。

LANのアドレス設定をDHCP以外にする場合は、サブネットマスクの設定に注意してください。

リモート制御
の開始

- リモートコントロールモードにするには通信ケーブルがつながっている状態でLockキーを長押しするか、リモートコマンド(:syst:rem)を送ってパネルをロックします。



- リモートコントロールモードになると、ステータスバーにLAN/USB/GPIBのアイコンが赤色になります。



- ステータスバーにロックアイコンも赤色に変わります。



リモート制御
モードからの
復帰

- リモートコントロールモードを終了するには、PCからの解除コマンド(:syst:loc)を送るかフロントパネルの【Lock】キーを長押ししてロックを解除します。



- リモートコントロールモードを終了すると、ステータスバーにあるLAN/USB/GPIBのアイコンがグレーになります。



- ステータスバーにロックアイコンも灰色に変わります。



- リアパネルからコネクタを外す場合には通信がオフの状態で行ってください。

PPH-1503 通信テストについて

LAN通信の
テスト

LANによる通信のテストはSocket通信が可能なアプリケーションを利用します。

USB通信の
テスト

USBによる通信は仮想COMポートとして扱いますので、シリアル通信が可能なアプリケーションを利用します。

GP-IB通信の
テスト

GP-IBはPC標準のポートでないので、用意したGP-IBカードのドライバに対応したアプリケーションを用意します。

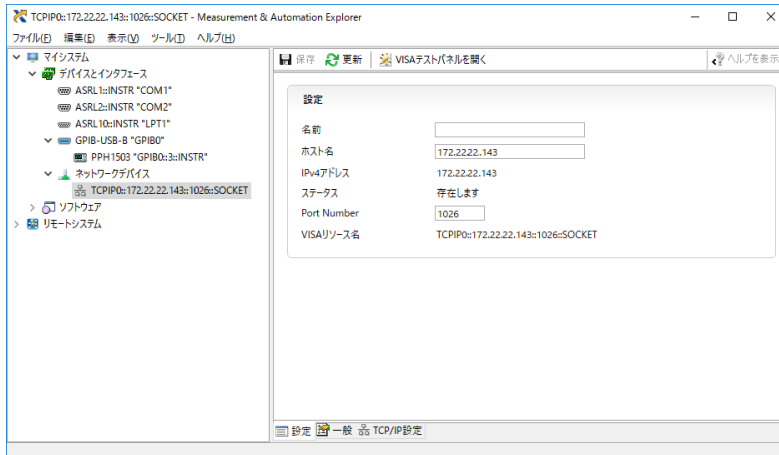
弊社ではナショナルインスツルメンツ製のNI-GPIBをGP-IBの標準として、USBおよびLANの通信も可能なNI-VISAに付属しているNI-MAXをテストツールとしております。

あらかじめナショナルインスツルメンツ社のホームページから利用するOSに対応したNI-VISAをダウンロードし、インストールしてください。通信が正しくできない場合は、NI-MAXに付属のトラブルシューティングで通信内容が確認できます。

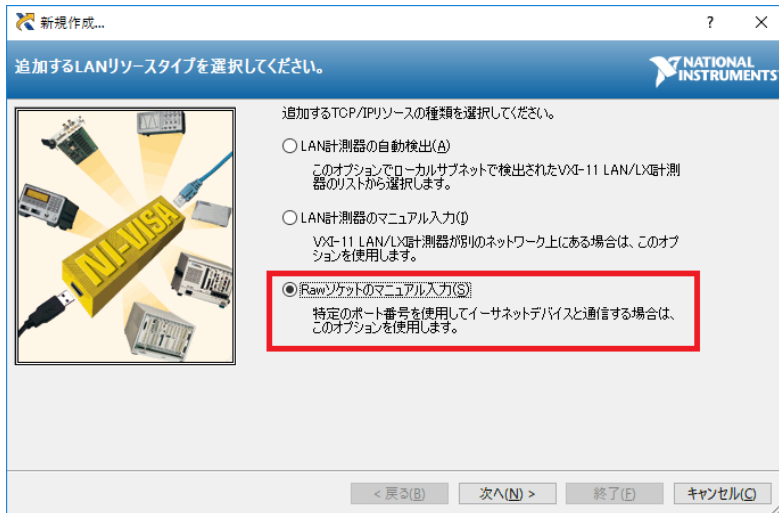
また弊社のホームページにはExcelのVBAを利用したWindows用サンプルプログラムが用意されています。通信テストについてはこちらでも利用できます。

LAN の通信設定とテスト

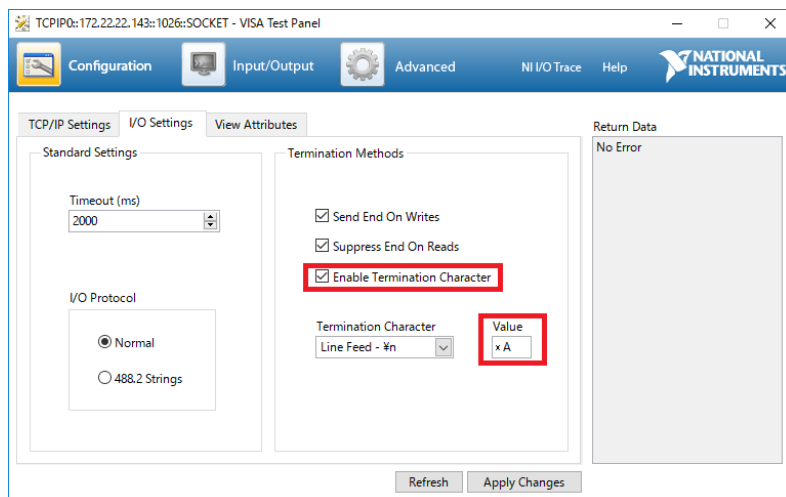
NI-MAX を起動しネットワークデバイスの表示を右クリックし、新規 TCP/IP リソースを追加します。



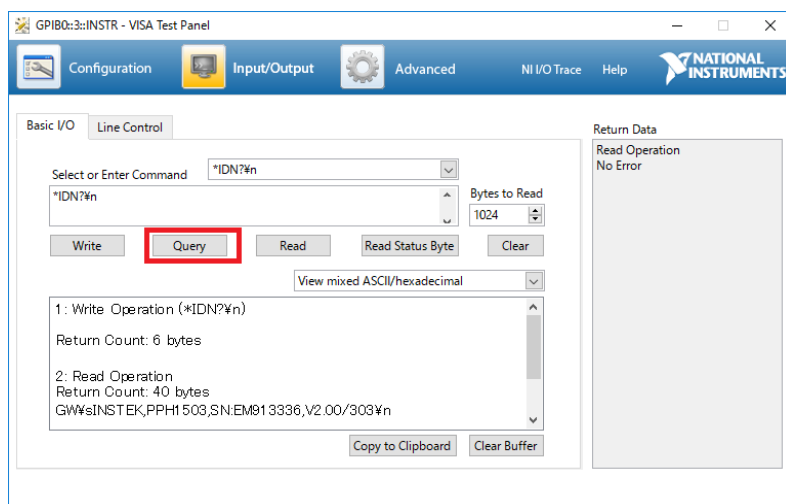
Raw ソケットの追加で IP 番号とポート番号を設定します。



Configuration で通信ターミネータを LF に設定します。

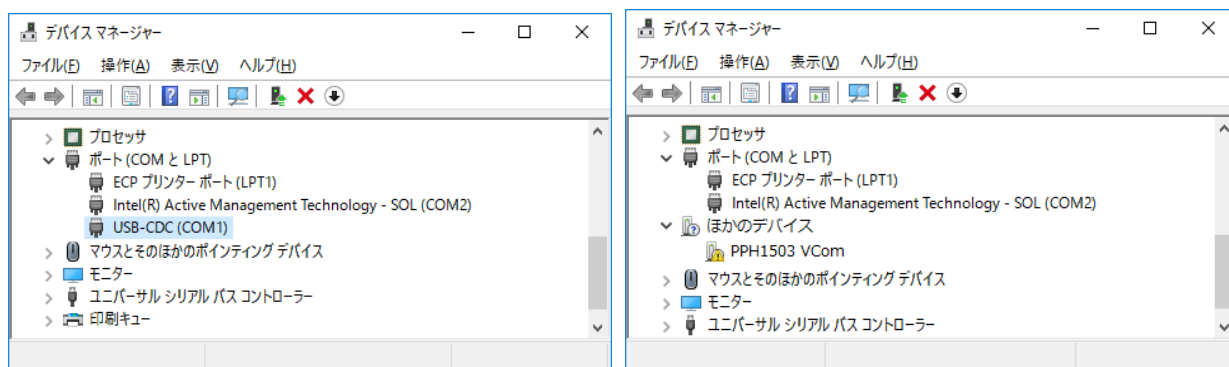


Input/Output で通信テストを行います。Query ボタンで*IDN?クエリの応答を確認します。

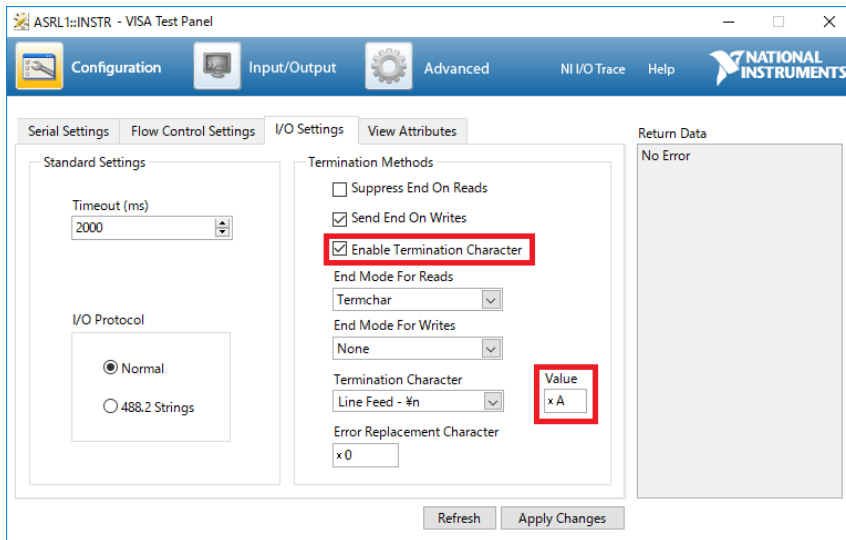
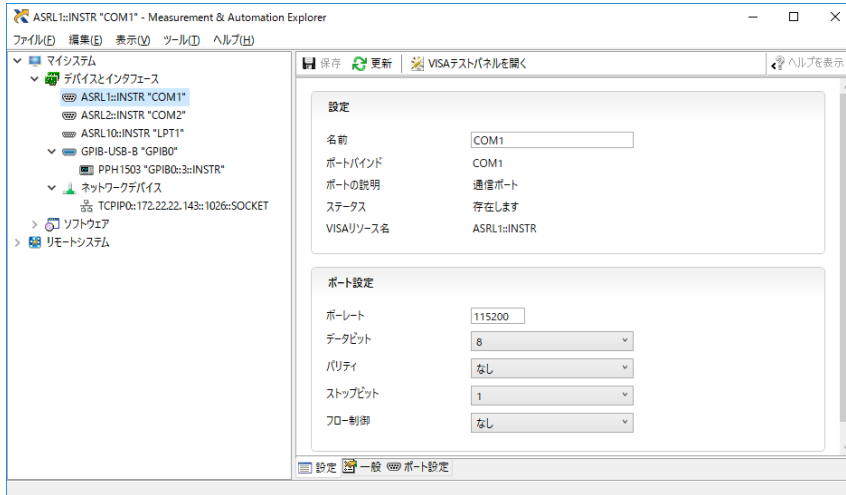


USB の通信設定とテスト

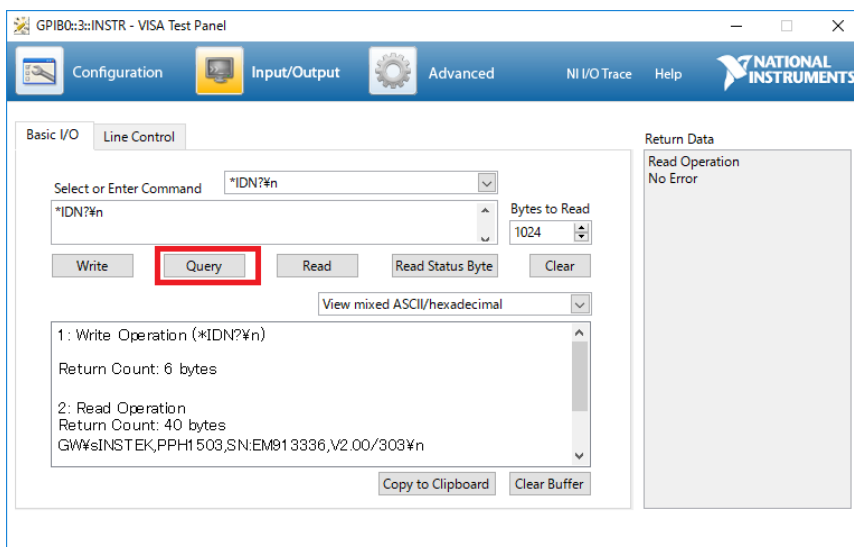
USBをPCに接続すると本器はCOMポートとして認識されます、ドライバが登録されていない場合は他のデバイスとして認識されます。デバイスマネージャで追加したデバイスを確認してください。未登録の場合は、デバイスの右クリックからドライバの更新を行い、提供されているUSBドライバをインストールするとCOMポートとして認識されます。



NI-MAX を起動して COM ポートを指定し、Configuration で通信ターミネータを LF に設定します。

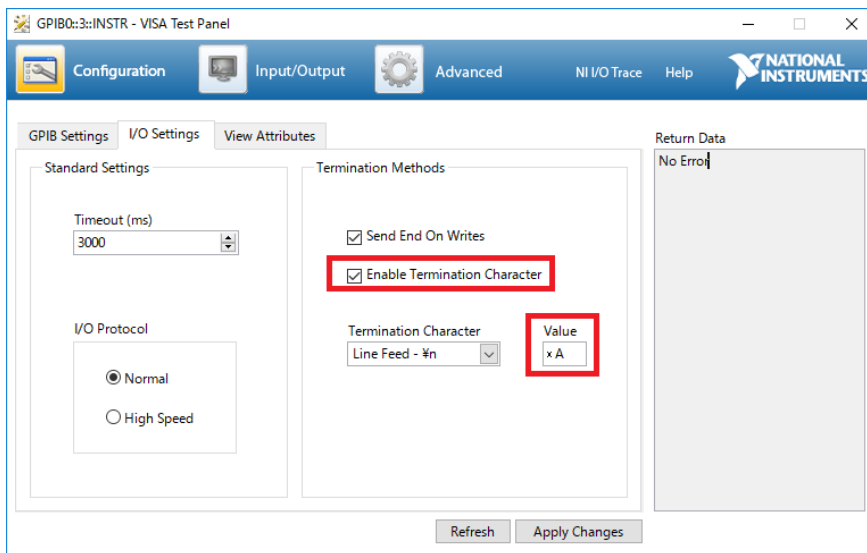
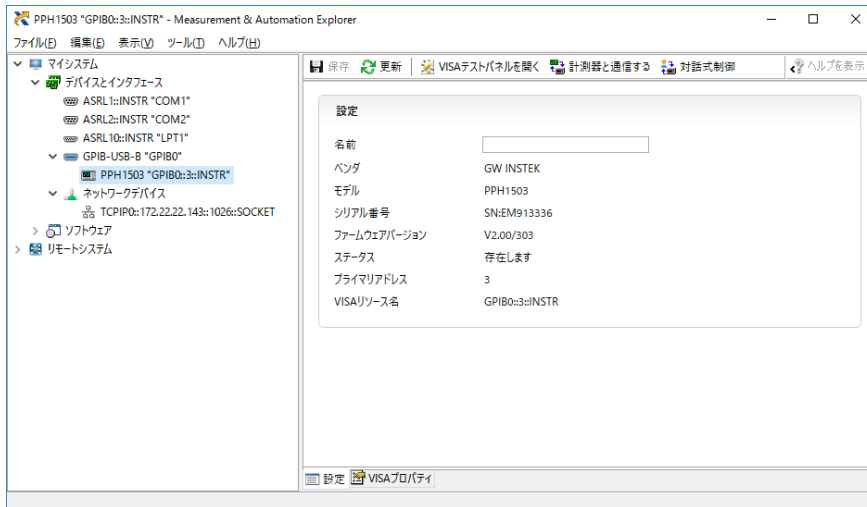


Input/Output で通信テストを行います。Query ボタンで*IDN?クエリの応答を確認します。



GP-IB の設定と通信テスト

NI-MAX を起動、GP-IB の計測器を検索します。Configuration で通信ターミネータを LF に設定します。



Input/Output で通信テストを行います。Query ボタンで*IDN?クエリの応答を確認します。

